

## 社会福祉法人新潟市社会事業協会 行動計画

1. 計画期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日

2. 当協会の課題

- ・職種によって、男性の平均勤続年数に対する女性の平均勤続年数の割合に偏りがある

3. 定量的目標

目標：全職種において、男性の平均勤続年数に対する女性の平均勤続年数の割合を 80%以上にする

4. 取組内容・実施時期

<平成 28 年 4 月～>

- 育児・介護休業制度を利用した場合、職場復帰の不安を取り除くための、「職場復帰プログラム」の受講を積極的に促す
- 柔軟な働き方に対応した諸制度や育児・介護に関する制度等、休業を取得しやすくするために配慮し、協会内制度の職員への周知・啓発を図る
- 育児・介護・配偶者の転勤等を理由に退職した職員に対し再雇用を促す

### 女性の活躍の現状に関する情報公表

<平成 28 年 1 月 1 日現在>

①労働者に占める女性労働者の割合 79%

<平成 26 年度実績>

①管理職に占める女性労働者の割合 50%

②採用した労働者に占める女性労働者の割合 84.8%

③男女の平均継続勤務年数の差異 106.1%

(男性の平均勤続年数に対する女性の平均勤続年数)

④労働者一月当たりの平均残業時間 3.7 時間